

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0270102163
法人名	医療法人白鷗会
事業所名	まちだパークホーム
所在地 (電話番号)	〒038-0058 青森県青森市羽白字野木和93番地1 (電話) 017-788-9300

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月6日	評価確定日	平成22年1月14日

【情報提供票より】(平成 21年 9月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 9月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	14人, 非常勤 人, 常勤換算 14人

### (2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有( 円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

### (4) 利用者の概要( 9月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	8 名	女性	10 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 83.5 歳	最低	73 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	まちだ内科・眼科クリニック、よこうち歯科医院
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>近くには湖や公園があり、穏やかな環境の中にある。事業所の主体が医療法人であり、運営者が医師であることを活かし、医療面において医師、訪問看護ステーション等との連携を図り、入居者や家族等にとって不安のないよう十分な話し合いが持たれており、密接な関係がとられている。</p>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での主な改善課題はなし。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の作成は職員全員で話し合いのもと作成されている。運営推進委員会では、その結果について報告すると共に、改善に向け職員間で話し合い、サービスの質の向上に努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、自己評価に対する取り組みの状況を報告したり、外部評価の結果とそれについての経過等を報告し、意見を頂きサービスの向上に取り組みされている。又、会議を通じ身元引受人に関する情報交換等を行っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>入居時に重要事項説明書を用い、苦情や不安等に対する対応やその方法について説明をしている。又、家族の面会時には利用者の状態報告を行なうと共に、運営やケアに関する意見を伺い、家族から意見や要望等が出されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の住民や地域ボランティアと交流を図る一環として、町内会のイベント、市民センター祭りや敬老会、地域のねぶた等に参加したり、地域の高校生と共にプラント作りを行い、交流が図られている。又、事業所の行事であるお花見などに参加して頂き、共にゲームをしたり、認知症についての説明を行うなど、認知症についての普及活動にも取り組まれている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの役割について職員間で話し合い、開設当時に掲げた理念「自由・協力・温和」について継続的に検討、話し合いが行われ、理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念について月1回のミーティング時や申し送り等にて職員間で話し合い、理念を玄関や廊下、事務所等に掲示している。ボランティアの受け入れや地域との交流を図り、理念の実践に向け取り組まれている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の住民や地域ボランティアと交流を図る一環として、町内会のイベント、市民センター祭りや敬老会、地域のねぶた等に参加したり、地域の高校生と共にプラントナー作りを行い、交流が図られている。又、事業所の行事であるお花見などに参加して頂き、共にゲームをしたり、認知症についての説明を行うなど認知症についての普及活動にも取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義について理解しており、自己評価は職員間で話し合い作成された。又、改善の必要があるものについては、改善に向けて取り組まれている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、自己評価に対する取り組み状況や外部評価の結果を報告し、意見を頂きサービスの向上に取り組まれている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>定期的に市の介護保険課等に出向き、身元引受人に関する情報及び制度等について話し合う等、市との連携に努め、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護及び成年後見制度等に関する外部研修に参加し、学ぶ機会を持っている。事業所内においては研修報告及び研修報告書等を通じ、職員間で共有出来るよう勉強会を実施している。又、これに関する資料を事業所内に掲示するなど、利用者や家族に対し情報提供をされている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待発見時における対応・対策等を記したマニュアルがあり、ミーティング等にて意図的な虐待、無意識な虐待等について学ぶ機会を設け、防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前に利用者と家族に対し、事業所の運営規定や重要事項説明書等を説明したり、事業所見学をいただいている。又、質問や意見等がないか尋ね、同意が得られるよう取り組まれている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>事業所内に行事等の写真を掲示したり、ホーム便りを発行するなど、利用者の暮らしぶりを家族にお知らせしている。金銭管理報告書においては、定期的に発行し家族に報告している。又、健康状態については、面会時や電話等にて家族に報告されている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居時に利用者及び家族に対し、意見や苦情等に対する受付について重要事項説明書を用い説明されている。又、重要事項説明書には、苦情受付担当及び苦情解決担当者、行政、国保連等の連絡先等について明記されており、外部者へ表せる機会を設けられている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>A・Bユニット間において利用者と職員は交流を図っており、顔なじみとなる機会があり、異動等によるダメージを最小限に抑える努力をしている。又、離職がある場合には、事前に利用者に対し十分に説明を行うなどダメージを防ぐ配慮がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部・外部研修等の実施について運営規定に定めており、年間における研修計画を作成し実施している。新規採用職員においては2週間の教育訓練期間を設け実施している。又、ミーティング等にて、職員間で話し合われた課題や研修の報告、効果の確認等がされている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>青森市のグループホーム協会に加盟している。事例検討等の研修会に参加し、ネットワークづくりや情報交換を行い、サービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に自宅を訪問し、利用者、家族へ馴染みのあるものを持ってきて頂くなど話し合いを行い、入居前の生活に近づけるよう相談し工夫している。又、利用者間に職員が係わる事によって馴染めるよう支援がされている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者に寄り添い、日々信頼関係を構築していく為、家事の手伝いや植物への水やりなどの軽作業や散歩等を一緒に行っている。感謝の言葉を伝える等、共に支えあう関係を築けるよう配慮がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者との日常の暮らしの中で聞かれた希望や意向、又、家族から生活歴等を確認し、身体状況や生活背景等の把握をする為、センター方式によるアセスメントを実施し、本人本位によるケアがされるよう努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者一人ひとりのケアプランを作成するにあたり、家族からの意見や要望等を汲みいれ、職員間で話し合われている。又、利用者の特徴や具体的な目標を設定する為、モニタリングを行い毎月見直しを行ないながら、介護計画が作成されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の利用者の状態や家族の意向等を確認し、介護計画を毎月見直ししている。見直しの必要時や介護度の変更等が生じた際には、再アセスメントを行なう等、現状に即した新たな介護計画を作成している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>法人主体が医療関係であり、医療面における連携がされており、事業所内における看取りや往診、訪問看護ステーションによる24時間体制の看護支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人代表者は内科医師であり、医療と事業所との関係が構築されており、週1回の往診や希望時には医師と相談できる体制がある。又、他科においては利用者が希望する医療機関を受診する事が出来るなど、利用者や家族の希望に沿った医療が受けられるよう支援がされている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	同法人内の訪問看護ステーションと連携を図り、看取りにおける指針の設定や重度化や終末期における状態変化等にかかわらず、利用者、家族、医師と話し合いをし、職員間による方針の共有がされている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないよう、言動に対し否定せず、一人ひとりのペースに合わせ対応している。又、個人情報保護法について学ぶ機会を設けており、ファイル管理や対応等について留意されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望やペースを考慮し、又、精神的・状態等に配慮し外出支援を始め、日々の生活において利用者の希望に沿った支援がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立は法人内の栄養士が作成しており、個々のニーズを確認し、必要時にはメニューを変更するなど、柔軟な対応がされている。又、利用者と職員は共に食事をしたり、外食に出かけたりするなど、楽しい食事への支援がされている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本となる入浴日はあるが、利用者の希望があれば入浴や足浴、シャワー浴を行なうなど柔軟な対応がとられている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者と共に、ジャガイモの皮むきや枝豆をとったり、花の水やり、食器洗い、洗濯たたみなど一人ひとりのペースや希望を考慮し、共に行いながら支援されている。		
28	58	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の精神・身体状況を確認し、散歩や大型スーパーへの買物、外食など戸外に出かけられる支援がされている。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルを作成しており、全職員で共有し身体拘束をしないケアに取り組まれている。又、経管抜去による誤嚥等危険がある場合を踏まえ、事前に家族に説明を行い、同意書の整備を行なっている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中帯においては、基本的に施錠はせず、外出する利用者がいた場合には、職員が付き添うなど鍵をかけないケアの実践がされている。事業所周辺に湖があり、夜間時には危険を防止するために施錠しているが、事前に家族に対し説明を行なっている。又、無断外出時に備え町内会や民生委員、近隣商店等に協力が得られるよう日頃より働きかけている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時における対策として、町内会や民生委員等の協力のもと、年2回日中帯や夜間帯を想定し消防署立会いにて、防災訓練を実施している。又、対策の一環として非常食や介護用品等の準備を事前に行なっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の栄養士に栄養バランスやカロリー等に配慮した献立を作成してもらっている。食事の摂取量や水分摂取量等個人記録簿に記載する他、毎週日曜日に行なわれる体重測定等を通じ利用者の状態を確認し、支援されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成しており、保健所やインターネットによる情報収集を行うなど、感染症に対する予防に努められている。又、インフルエンザの流行時期においては事前に予防接種を受けるなどの対策がとられている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>事業所内には、テーブルやソファ、畳の空間を用意しており、利用者が自由に選択出来るよう配慮されている。又、季節にあわせた掲示物や飾りつけがされており、大きな窓からは湖を見る事が出来、居心地のよい空間づくりの工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者や家族に使い慣れた物を持ち込んで頂けるよう働きかけており、利用者の居室には、馴染みのある家具や写真などが持ち込まれ、居心地よく過ごせるよう工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。